

【W7】音楽のやりかた—ひとりで・だれかと・みんなで

【講師】寺内 大輔

【要旨本文】

音楽は、だれかに聴かせたり、だれかと遊んだりするといった、他者とのかかわりによって生じる楽しみもあれば、だれに聴かせるでもない即興演奏をしたり、お気に入りの音に耳を澄まして感じ入るといった、自己完結的な楽しみもある。こうした楽しみの幅を広げることは、個人にとってもコミュニティにとっても、音楽という行為を豊かなものにするだろう。

本講義とワークショップでは、ひとりで・だれかと・みんなで楽しめるワーク（即興演奏や、声や音を使った様々な遊び・ゲームなど）を実際に体験しながら、人が音楽をするということはどういうことかを考える場にしたい。以下は主なトピックである。

1. 「聴く」を広げ、深めよう

関連トピック：サウンドスケープから聴く文学・聴く美術へ

関連トピック：サウンドスケープにはたらきかける遊び

関連トピック：「密かな音楽の愉しみ」とは

2. ひとりで楽しむ、だれかと楽しむ

関連トピック：「だれかに聴かせること」を前提としない音楽的営み

関連トピック：ひとりで楽しむ楽器、だれかと楽しむ楽器

関連トピック：自分にしか聴こえない音楽を奏でよう

関連トピック：あなたと私だけの「密かな愉しみ」の話をしよう

3. みんなで楽しむ

関連トピック：いろいろな音遊びをやってみよう—聴く・奏でる・動く

関連トピック：グループでの即興演奏ワークをいろいろやってみよう

関連トピック：一人ひとりの強みや興味を活かしたステージづくり

4. 私たちにとって「音楽する」とはどういうことか

関連トピック：モノとしての音楽（ミュージック）と、
コトとしての音楽（ミュージッキング）

※ 内容は、変更になることがあります。

※ プログラムとしては、13:00-14:30 が講義、15:00-16:30 がワークショップとなっていますが、実際には講義とワークショップを混ぜて進行します。

※ 手軽に使える楽器または何か音の出るものをご持参ください（特にない場合はなくても参加できます）。

【講師プロフィール】

作曲家・即興演奏家、博士（芸術工学）。これまで、日本を含む13カ国の芸術祭、コンサートで作品発表・即興演奏を行い、楽譜・CD等が国内外で発売中。詩のボクシング広島大会初代チャンピオン、Filmer la Musique（パリ）入選、日本音楽即興学会学会賞受賞。小学校、特別支援学校、高等学校、大学等の講師を経て、現在は広島大学・同大学院准教授。<https://dterauchi.com>